

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：医療整備課
担当名：地域医療対策担当
内線：3643 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業			
S54	災害医療体制強化推進事業				一般会計	衛生費	医薬費	医務費	災害医療体制整備費			
事業期間	平成18年度～	根拠法令	災害対策基本法、災害救助法、埼玉県地域防災計画、医療法				針路分野施策	01 災害・危機に強い埼玉の構築 0101 危機管理・防災体制の再構築	SDGsゴール	11, 13	SDGsターゲット	11-5, 11-b, 13-1
1 事業概要 災害の頻発・激甚化に対応するため、災害拠点病院や災害時連携病院、DMAT（災害派遣医療チーム）等の充実・強化が必要である。 そこで、災害拠点病院の「埼玉DMAT」及び災害時連携病院の「埼玉地域DMAT」を整備・強化するとともに、災害医療コーディネート体制の充実等を図ることにより、災害時の医療提供体制を確立する。 ア 災害医療体制整備事業 △618千円 イ 地域の災害医療体制強化事業 △8千円					5 事業説明 (1) 事業内容 大規模災害に備えるため、災害拠点病院に加え、災害時の患者受入れの拠点となる災害時連携病院、一般病院が重層的な災害に強い医療体制を構築することで、本県医療救護体制の更なる強化を推進する。 ア 災害医療体制整備事業 25,575千円 (ア) 災害拠点病院・埼玉DMAT整備事業 (イ) 災害時通信機器整備事業 イ 地域の災害医療体制強化事業 9,822千円 (ア) 災害時連携病院支援事業 ウ 埼玉DMAT養成事業 11,607千円 エ 災害時医療人材養成事業 1,325千円 (2) 事業計画 ア 埼玉DMATの整備・強化 イ 埼玉地域DMATの整備・強化 ウ 広域災害救急医療情報システム（EMIS）の整備 エ コーディネート体制の整備・強化 (3) 事業効果 大規模災害発生時において必要な医療を提供できるよう、体制の整備を図る。 【活動指標（アウトプット）】埼玉DMAT養成研修（2日間）、埼玉DMAT養成研修（0.5日間）、埼玉地域DMAT養成研修、埼玉地域DMAT技能維持研修、災害医療コーディネート研修の開催 【成果指標（アウトカム）】埼玉DMAT、埼玉地域DMAT、災害医療コーディネートに必要な知識・技能を習得した医師等の養成、災害時連携病院の新規指定 (4) 補正予算の概要 事業の執行額が当初の見込みを下回ったことによる減額							
2 事業主体及び負担区分 ア（国10/10）事業者0、（国1/3・県2/3）、（国1/2・県1/2）、（県10/10）事業者0、（県10/10） イ（県10/10）事業者0、（県10/10）												
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） （区分）衛生費（細目）医療行政費 （細節）特別医療対策費 （積算内容）医療施設等設備整備費												
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.7人＝35,150千円												
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額		
		国庫支出金										
決定額	△626								△626	48,329		
現計額	48,955	10,223							38,732			

事業内訳書

事業名	災害医療体制強化推進事業		
単位事業名	災害医療体制整備事業	予算額	△ 618千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△618	—	
合計	△618	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△618	—	事務費の節減による減額
合計	△618	—	

単位事業名	地域の災害医療体制強化事業	予算額	△ 8千円
-------	---------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△8	—	
合計	△8	—	

単位事業名	地域の災害医療体制強化事業	予算額	△ 8千円
-------	---------------	-----	-------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△8	—	事務費の節減による減額
合計	△8	—	